

学びの領域 3コースから自分の進路に合った学びを選ぶ。

経済学コース

経済学を体系的に学ぶ

経済学を基礎から専門まで体系的に学び「経済を見通す目」を養います。教養や外国語、経済フィールドワークの学びをとおして国際社会でも生き力を修得します。

市場経済 # インセンティブ
日本経済 # 公共政策
国際経済 # データ分析

国際コース

世界で活躍する人材に

海外の大学生とのオンライン英会話や語学研修等、英語スキルを磨く科目が充実。ビジネスでの実践英語を修得し、グローバルな視点から経済学の学びを深めます。

ニュース英語
ビジネス英語スキル
ビジネス英語交渉術
グローバリゼーション

金融コース

金融・財務を深く学ぶ

金融機関、民間企業（財務担当）を志す学生に特化したコースです。お金の視点から経済の仕組みや家計・企業の経済活動を理解。金融・財務に直結した資格も取得していきます。

保険 # 簿記 # 財務諸表
銀行 # 資金調達 # 証券
ファイナンシャル・プランニング

学びの流れ 少人数授業でステップアップ式に学ぶ。

卒業基準単位数:124		1 4年間の基礎となる 「知のインフラ」を 修得する	2 深めたい分野を 段階的に学ぶ	3 ゼミナールで 専門分野を追究	4 進路を視野に 学びの集大成に 取り組む
教養的科目: ≧20 専門科目: ≧80 ※2025年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要 最低単位数以上を修得し、卒業基準 単位数を充足します。		経済学を深く学ぶための基礎的な知識 を修得。入門科目を中心に、英語や数 学、パソコン操作を学びます。	興味を深めたい分野を、専門的・応 用的に学修。またゼミナールでのグ ループ学修等も始まります。	2・3年次のゼミナール活動は同じ 教員が2年間指導。学生が主体的に 研究テーマを深めていきます。	4年間の集大成となる研究活動とし て、研究テーマを分析し、問題解決に 導く論文作成に取り組みます。
必修科目		・ミクロ経済学基礎 ・マクロ経済学基礎 ・経済学基礎 ・マルクス経済学基礎 ・数学基礎 ・統計学基礎			
選択必修科目・ 選択科目	コ ー ス 選 定 課 目	コ ミ ク ロ 経 済 学 国 際 コ ー ス 金 融 コ ー ス	・経済フィールドワーク1・2		
		・Introduction to Business and Economy ・Preparation for Studying Abroad 1・2 ・海外語学研修 1・2 ・金融論基礎 ・財務諸表論 ・実践簿記 1・2	・News English 1・2 ・Business English Skills 1・2 ・Business Discussion 1・2	・Business Negotiation ・Japanese Economy	
			・発強論 ・リスク・マネジメント	・中国の金融	
	共 通 課 目	・ミクロ経済学基礎演習 ・マクロ経済学基礎演習 ・経済学Ⅰ ・法学 ・政治学 ・憲法 ・民法 ・経済学 ・商法 ・簿記 ・会計学	・ゼミナールⅠ ・ミクロ経済学 ・マクロ経済学 ・ミクロ経済学演習 ・マクロ経済学演習 ・マルクス経済学1・2 ・現代資本主義論1・2 ・日本経済史 ・欧州経済史 ・アジア経済史 ・アメリカ経済史 ・経済学Ⅱ・2 ・経済学Ⅲ・3 ・コーホーランド・ファイナンス1・2 ・財務学1・2 ・金融論1・2 ・ゲーム理論 ・産業組織論 ・統計学 ・経済数学1・2 ・計算経済学1・2 ・労働経済学1・2 ・人的資源管理論1・2 ・多国籍企業論1・2 ・グローバル産業論1・2 ・農業経済学1・2 ・都市・地域分析1・2 ・経済法 ・労働法 ・会社法 ・現代ジャーナリストに学ぶ現代の日本 ・ラビで学ぶビジネススキル・アクション ・ラーニング1・2	・ゼミナールⅡ ・中級ミクロ経済学1・2 ・中級マクロ経済学1・2 ・現代資本主義論3 ・黒田義典論1・2 ・国際経済学1・2 ・国際金融論1・2 ・日本経済論1・2 ・経済政策論1・2 ・公共経済学1・2 ・開発経済学1・2 ・経済統計学1・2 ・実証経済分析1・2 ・証券市場論1・2 ・地方財政論1・2 ・アメリカ経済論1・2 ・欧州経済論1・2 ・アジア経済論1・2 ・中国経済論1・2 ・国際経済学1・2 ・環境計画論1・2 ・都市経済学1・2	・ゼミナールⅢ ・卒業論文

※上記は主な専門科目です。このほか教養的科目として、学修の基礎Ⅰ・Ⅱ、情報基礎Ⅰ・Ⅱ、英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語リスニングⅠ・Ⅱ等多数の科目があります。
※「共通科目」は、コースにより「選択必修科目」「選択科目」の区分が異なります。※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。※カリキュラムは変更される場合があります。

授業

Focus on

経済政策論1・2	Online English Conversation 1・2	国際金融論1・2
税金・補助金等のミクロ的視点、財政・金融政策等のマクロ的視点から経済政策を学修。政府の経済政策や現代に求められる政策を考えます。	(国際コース限定・教養的科目) オンラインでの海外の大学生とのマンツーマン英会話やネイティブ講師の指導を実施します。	国と国との間の資金の貸借を想定したうえで、自国の経済について分析します。グローバルな視点で、自国経済の動きを理解できるようになります。

■時間割モデル(3年次)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2			アメリカ経済史	地方財政論1		
3	国際金融論	経済学演習実務文法セミナー	欧州経済論1	都市地域分析1		
4	国際経済学1			都市経済学		
5	ゼミナールⅡ			アジア経済論1		
6						

■卒業論文テーマ

- 立正大学のポジショニング・シミュレーション
- 古本業界の危機と再建
- 東北本線「南古河駅」新駅新設に関する試算
- 戦後の闇市について
- 日本の食料事情について
- 超高齢社会に向けた介護職の抑制
- 菓子類への支出金額の推移と気温・降水量との関係
- 欧州フットボールクラブの光と闇：経営体制の問題の解明
- セコマート
一地域に愛されるコンビニのなりたち
- 長時間労働一更なる削減のために
- 消費税の引き上げが日本経済に与える影響
- コロナ禍における晩婚化・未婚化の変化
- 物流業界における働き方改革の現状と課題
- エリザベス一世と治世の軌跡
- 中国における所得格差の現状とその是正に向けて

Topics

経済の現場を体感する「経済フィールドワーク」

経済学コースでは、多様な地域でフィールドワークを実施しています。長野県小布施町の伝統・地域産業、群馬県草津町・みなかみ町の温泉観光産業、新潟県柏崎市高柳町の中山間地域のまちづくり、奈良県奈良市の歴史遺産・観光施設等、全国各地に赴き、学生たちは独自の調査を行います。経済の現場を体感することで、実態把握力や自ら課題を発見して問題解決できる力を養います。

進路・就職 経済・国際・金融の高い専門性を発揮。

課題の多い経済分野で、幅広い知識と専門性を兼ね備えた人材が求められています。

1 経済学コース

あらゆる領域で役立つ“経済を見とおす目”

2 国際コース

実践的な英語力と国際感覚・行動力

3 金融コース

専門資格の取得や地域経済への貢献力

■資格・免許

詳しくはP.128へ

【教員免許】 中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業） 学校図書館司書教諭（任用資格） 【専門職】 ファイナンシャル・プランニング技能士 [*] 証券アナリスト [*] 宅地建物取引士 [*] 博物館学芸員（任用資格） 図書館司書 【行政職】 社会教育主事（任用資格） 社会福祉主事（任用資格）	合格・取得サポート講座 ●ERE（経済学検定試験）●TOEIC® TEST ●日商簿記検定試験 ●宅地建物取引士 ●情報処理技能検定 ●ニュース時事能力検定 ●国家公務員 ●地方公務員 【対応講座】 公務員試験対策講座 / 宅建課外講座 【関連科目】 中級ミクロ経済学1・2 / 中級マクロ経済学1・2 / 英語リーディング / 英語リスニング / Online English Conversation（国際コース） / 実践簿記1・2（金融コース） / 情報基礎1・2
---	--

^{*} は資格試験に合格する必要があります。

■進路・将来像

金融機関 / 証券会社 環境関連企業 民間企業全般 経営コンサルタント 税理士 官公庁 / 各種公務員 中学校社会科教諭 高等学校地理歴史教科教諭	高等学校公民科教諭 高等学校商業科教諭 学校図書館司書教諭 社会教育主事 社会福祉主事 博物館学芸員 図書館司書 大学院進学 等
--	---

■主な進路

